

平成30年度 国際理解ワークショップ 進行シート

作成日: 2018 年 8 月 3 日

大学名: 上越教育大学 大学院

タイトル: 貿易ゲーム ～世界の格差について考えよう～

1:本ワークショップの要旨

「貿易ゲーム」は、様々な世界の国の人になりきって、貿易を通して世界経済の動きを疑似体験する趣味レーションゲームである。生徒を8つの国のグループに分けて、国の利益を増やすことを目指して、製品を製したり、他国と交渉したりするゲームを行う。

このゲームを通して、世界の経済格差がなぜ生まれてくるのか、環境問題がなぜ深刻化したままなのかなど、世界の国々抱える諸問題に体験的に気付くことができると考える。

2:本ワークショップの目的（目標、実現したいこと）

貿易ゲームを通して、貿易を中心とした世界経済の仕組みについて体験を通して理解を深める。そして、自由貿易やグローバル化が引き起こす様々な問題に気づくことを目標とする。

最終的には、世界の国々の経済格差や不平等な問題を解決するために、自分たちができることを考えたり、日常生活で改善できることを実践したりしようとする姿を期待する。

3:本トピックをとりあげる理由

グローバリゼーションの進行により、巨額の資本が国境を越えて地球規模で動いた結果、経済格差や環境問題といった様々な問題を引き起こした。国境のないボーダレス経済では、財、サービス、資本が自由に動くため、経済が発展し、技術革新が進む。先進国では、発展途上国への工場移転などにより産業の空洞化や雇用の減少、国内格差の拡大が起こった。一方、発展途上国では、先進国の大企業が経済的主導権を握り、中小企業や農業などが圧迫されている。

このような経済の仕組みやそれが引き起こす問題は、社会科の学習の中で教科書を用いて経済や貿易について学習するだけでは、実感をもって子どもたちが理解することは難しい。そこで本活動では、実際に自国の利益を増やすことを目指して実際に子どもたちが製品を作ったり、出荷したり、資源や情報を求めて他国と交渉を始めたりする活動を行う。経済活動を体験することで、経済の動きや格差が生まれる原因などについて、実感を通して学ぶことができると考える。

4:活動過程 (使用時間: 90分 参加人数: 25~40人)

過程	活動内容	具体的な発問・説明・動きなど	ねらい	使用する教材・備品	予想される反応、その他注意事項
導入 (15分)	1. 講師の自己紹介 2. 国の場所当てゲーム (世界地図のPPTを使って場所を当てる)	「私は～です。趣味は～です。」 「これほどこの国でしょう。」	・ファシリテーターに慣れ親しむ。 ・貿易ゲームで扱う国を認識する。	・国の写真(掲示用) ・ワークシート	楽しそうだな。がんばろう。 世界にはいろいろな国があるんだな。
展開 (55分)	1. 国の説明(5分): 国の名前や位置、国旗など簡単な情報だけ提示する。 2. ルール説明(5分): 国の分担、銀行の設置、できるだけ多くお金を稼ぐために動く、など。 3. 実際の活動(40分): 活動中にファシリテーターは「何してもいいんだよ」と言って自発的な行動を促したり、シールに関する情報を与えたりする。 4. 結果発表(5分): どの国が一番稼いだか黒板に書き出す。	「国ごと(グループごと)に封筒を配ります。」 「封筒の中に入っているものを使って、できるだけ多く稼いでください。」 「一番稼いだ国はどこでしょう?」	・利益を生むことを目指して貿易ゲームをする。	・角形2号封筒 ・鉛筆 ・白紙(A3,A4) ・ハサミ ・分度器 ・定規 ・コンパス ・シール ・磁石 ・厚紙(白紙、A4) ・黒板	・ルールを理解できない児童(グループ)に対して支援をする。 ・必要なものがあつたら他の国と交渉してもよいことを伝える。

<p>発展 (10分)</p>	<p>1. 貿易ゲームをしてみ て、どんな気持ちにな った?→ワークシ ートに書いてから話 し合いをする</p> <p>2. 多く稼いだ国はたくさ ん文句を言われたけ ど、どうしたら文句を 言われなくなると思 う?</p> <p>3. どうすればこういった 不平等や格差はなくな るだろうか?</p>	<p>「ゲームをして みて気づいたこ とはあります か。」「ほかの国 と交渉している ときはどんな気 持ちでした か?」 「文句を言われ てどんな気持ち でしたか?」 「どうすればこう 行った問題はな くなるでしょ う?」</p>	<p>・ゲーム中に気 付いたことや、 感じたことを共 有することによ って、豊かな国 と貧しい国の 感じることを知 る。 ・経済の不均 衡がなぜ起こ るのか体験を 通して理解す る。</p>	<p>・黒板</p>	<p>・ゲームをし ているとき に自分ほど んな気持ち だったかを しっかりと振 り返れるよ うにする。</p> <p>・友達の意 見をしっかりと 聞いて共 有できるよう にする。</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>ムヒカ大統領のスピー チ(10分) 参考:「ムヒカ大統領の スピーチ(全編)」(YouT ubeよりhttps://youtu.b e/pmEoZ4r21Es) (スピーチの原稿も配る ようにする)</p>	<p>「ムヒカ大統領 はどのようなこ とを考えていた だろうか?」 「自分たちが明 日からできるこ とを具体的に考 えてみよう。」</p>	<p>・ムヒカ大統領 の考えを理解 する。 ・世界をよりよ くするために自 分ができること を考えようとす る。</p>	<p>・パソコン ・プロジェク ター</p>	<p>・世界の格 差が少しで も解消され るように、自 分ができる ことを具体 的に考えさ せる。</p>

5:会場のセッティング

- ・生徒を8つのグループに分けて、机を配置する。
- ・世界銀行のコーナーのために、生徒と別に机を準備する。
- ・ゲームの説明や国当てクイズができるように、プロジェクターとPCを準備する。

6:使用する教材

- ・鉛筆(HB, 36本) ・A4白紙(500枚) ・ハサミ(12本) ・分度器(8つ)
- ・定規(15cm, 18本) ・コンパス(6本) ・シール(1部) ・磁石(3セット)
- ・角形2号の封筒(48) ・A4白地の厚紙(200枚) ・A3白紙(16枚)

7:参考資料

- ・『地球家族 世界30カ国のふつ々の暮らし』マテリアルワールドプロジェクト、ピーター・メンツェル、TOT
O出版、1994
- ・『新・貿易ゲーム 一経済のグローバル化を考える―』(2009) 開発教育協会